



特集2 金城学院幼稚園設立50周年、その先の未来へ向かって。



# 記念礼拝 & 記念コンサートが盛大に開催されました。



当園では2022年度～23年度の2年間にわたり、設立50周年を祝うさまざまな行事を行ってきました。そして2023年8月26日(土)には、記念行事のメインイベントとなる「同窓会・ホームカミングデイ」と「記念礼拝・記念コンサート」を開催しました。当日は1,500名以上の方が来てくださり、記念行事は大盛会のうちに終了しました。



おかえりなさい!

幼稚園で行った「同窓会・ホームカミングデイ」には多くの卒園生や保護者の方々、旧職員の方々に来ていただきました。

## 50周年記念同窓会・ホームカミングデイ



久々の再会を喜び合う卒園生や保護者の皆さん。



50年分の名簿整理や記念行事の準備・受付など、多くの力を貸してくださった歴代の支える会の皆さま、保護者の皆さま、ありがとうございました!



教室に展示されているアルバムや卒園制作を見ながら、思い出話に花が咲きました。



二人ひとりを大切に「保育」をこれからも。

おやつ作りをしたい子は集まってクッキーを焼いたり、外で遊びたい子は外で遊んだり。この園は設立当初からとにかく自由で、保育者はそんな子どもたちを観察し、ここぞという時に手を差し伸べる。それは保育士の力が試される作業ですが、この園がずっとそれを続けてきたのはすごいなと思います。これからも「一人ひとりを生かす保育」を貫いてほしいと願っています。

**服部和子さん**  
1973-1975年、金城学院幼稚園に教諭として勤務。

子どものありのままを受け入れてくれる保育に惹かれて入園。縦割り保育なので、親も横のつながり、縦のつながりができて、先輩のお母さんからも多くのことを学びました。長男も、自分がこの園に通って楽しかったからと、ここで教育実習をさせていただきました。この園で、子どもも親も育てていただきました。

**住田美江さん**  
長女(25回生)と長男(27回生)の2人が当園の卒園生。

この園で、子どもも親も育てていただきました。

幼稚園20周年の年に長男が入園。園の見学に来た時に、子どもたちが楽しそうに遊んでいて、いいなと思いました。当時は現園長のめぐ先生も在職されていて、子どもたちよりも一生懸命に土を掘っていて、その姿に惚れ込んだのが入園の決め手(笑)。西川道子園長の言葉から学ぶことも多く、今も心に残っています。

**岡村幸子さん**  
長男(20回生)はじめ、次男、長女、次女の4人のお子さまが当園の卒園生。



## 50周年記念礼拝

【アニー・ランドルフ記念講堂にて13時より開会】

「50周年記念礼拝」はオルガンの前奏からはじまり、続いて全員で讃美歌『ひかりひかり』を合唱。神さまに感謝のお祈りをし、聖書の言葉を暗唱したのち、小室尚子金城学院学院長・宗教総主事より『光の子として歩む』と題した聖書のお話があり、ともにお祈りをささげました。



静かに、祈りの心で開会を待つ子どもたち。



『Amazing Grace』を歌う讃美歌手話の会（父母の会の有志の会のひとつ）の皆さん。



小室尚子 金城学院学院長・宗教総主事による聖書のお話とお祈り。



全員で讃美歌「ひかり ひかり」を歌いました。



祝辞を述べる戸荻創金城学院理事長。



小学生Aチームの演奏。「ひかりの子ハンドベルクワイア」は2010年に結成した小学生のクワイアで、卒園後も幼稚園に来て練習に励んでいます。



小学生B・Cチームの演奏。



息のあった演奏を披露する中学生以上のチーム。



在園の年長男子の母5人で結成したCatta de Terra。優雅で華麗な演奏で会場を魅了しました。



この日は卒園生で、現在東京芸術大学で学ぶ和田遥人さんも賛助出演。



卒園者の保護者の方々4人で結成したEnsemble Agréable。さまざまな楽器が織りなす美しい響きと音色に、観客もうっとり。



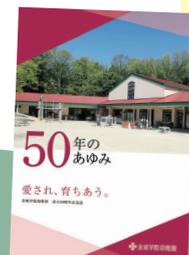
卒園生の保護者で結成されたママボンズの楽しいパフォーマンスに、子どもたちもノリノリ。



記念コンサートもついにフィナーレ。出演者全員がステージに上がり、聴衆と一体となって「にじ」と讃美歌「ひかりひかり」を歌いました。



「光の子として、また会いましょう！」コンサートが終了し、ごあいさつをする児玉芽園長。



金城学院幼稚園の50年の歴史をたどり、次の50年につなげる記念誌『50年のあゆみ』が完成しました。1冊500円。お求めは園までご連絡ください。